



平成24年3月期 第2四半期

決算説明資料

平成23年11月14日



これまでにない「新しいモノづくりソリューション企業」として

新・事業戦略コンセプト neo EMS
(進化型のEMS)

をグローバルに展開し、企業価値を増大

◇平成24年3月期 第2四半期 業績ハイライト	P 3
◇平成24年3月期 通期連結業績予想	P12
◇第2四半期トピックス (TKRとの経営統合、中基衆合国際技術服务有限公司無錫分公司設立、 フィールドサービスの開始、ネットレコーダー・ソリューションズ(株)との資本・業務提携)	P20

【本資料におけるご留意点】

・現在、7月に経営統合したTKRを含めた中期経営計画を策定しており、12月初旬に公表、12月7日に説明会を行う予定です。

・7月28日に株式会社テーケアールを子会社化いたしました。

・以下の通り業績予想の修正を行っております。

8月1日	第2四半期累計期間連結および個別業績予想の修正
9月27日	TKR統合に伴う連結業績予想の修正
11月7日	第2四半期累計期間連結業績予想の修正

なお、当社グループとTKRグループの財務諸表の連結は、TKRグループ各社が12月決算であることから、期間損益に関してはTKRグループの7月～12月の6か月分のみを当社グループ10月～3月の財務諸表に取り込むこととなります。

* 金額は四捨五入にて百万円単位で表示しております。そのため決算短信、四半期報告書と一致しない場合があります。



平成24年3月期 第2四半期

業績ハイライト



平成24年3月期 第2四半期 業績ハイライト (P/L)

売上高 11,007百万円と前期比22.5%の増収
TKRとの経営統合により「負ののれん」が発生し、当期純利益は計画比41.6%アップ

項目/決算別 (単位：百万円)	第1四半期 (参考)	第2四半期				第2四半期(累計)				前年同期	前年同期比
		計画	実績	差異	達成率	計画	実績	差異	達成率		
売上高	5,347	6,050	5,660	▲390	93.6%	11,500	11,007	▲493	95.7%	8,983	+22.5%
売上総利益	612	805	703	▲102	87.3%	1,300	1,315	15	101.2%	1,279	+2.8%
(売上総利益率)	11.4%	13.3%	12.4%	▲0.9%	-	11.3%	11.9%	0.6%	-	14.2%	-
販売管理費	567	580	598	18	103.1%	1,150	1,165	15	101.3%	1,002	+16.3%
(販売管理费率)	10.6%	9.6%	10.6%	1.0%	-	10.0%	10.6%	0.6%	-	11.2%	-
営業利益	45	225	105	▲120	46.7%	150	150	0	100.0%	276	▲45.7%
(営業利益率)	0.8%	3.7%	1.9%	▲1.9%	-	1.3%	1.4%	0.1%	-	3.1%	-
経常利益	22	195	63	▲132	32.3%	120	85	▲35	70.8%	265	▲67.9%
(経常利益率)	0.4%	3.2%	1.1%	▲2.1%	-	1.0%	0.8%	▲0.3%	-	3.0%	-
当期純利益	▲1	1,010	1,274	264	126.1%	900	1,274	374	141.6%	765	+66.5%
(当期純利益率)	0.0%	16.7%	22.5%	5.8%	-	7.8%	11.6%	3.7%	-	8.5%	-
現場社員数 (nms単体)	3,294	3,415	3,534	119	103.5%	3,415	3,534	119	103.5%	3,425	+3.2%

平成24年3月期 第2四半期 業績について (P/L)

・事業別の詳細は、後述スライドのとおり。

売上高 11,007百万円 (前年同期比 22.5%増↑)
⇒前年同期に比して売上高は2,024百万円の大増収

●IS事業	4,407百万円	(前年同期比 2.0%増↑)	[計画比 0.9%減↓]
●MS事業	1,491百万円	(前年同期比 6.9%減↓)	[計画比 0.4%減↓]
●GE事業	309百万円	(前年同期比 5.8%減↓)	[計画比 5.2%減↓]
●EMS事業	4,799百万円	(前年同期比75.7%増↑)	[計画比 8.3%減↓]

売上総利益 1,315百万円 (前年同期比 2.8%増↑)
⇒前年同期に比して売上総利益は36百万円の増益

販管費 1,165百万円 (前年同期比 16.3%増↑) [計画比 1.3%増↑]

営業利益 150百万円 (前年同期比 45.7%減↓) [計画比 ±0]

経常利益 85百万円 (前年同期比 67.9%減↓) [計画比 29.2%減↓]

当期純利益 1,274百万円 (前年同期比 66.5%増↑) [計画比 41.6%増↑]

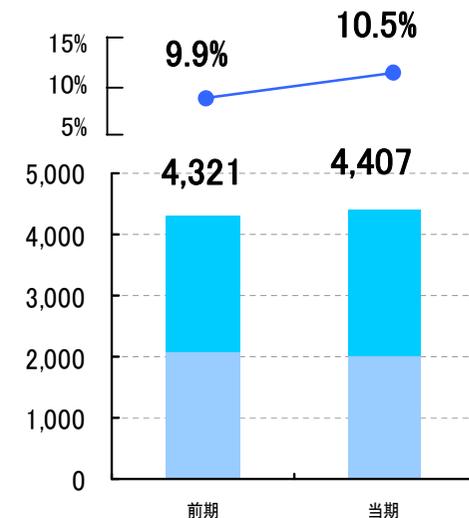
平成24年3月期 第2四半期 事業別業績ハイライト

IS事業 インラインソリューション事業

営業利益、現場社員数において計画達成するも
売上高においてはわずかながら計画未達成

震災後のメーカー各社の部材調達の復旧及び増産基調を
取り込み、早い段階で震災前の状況に戻る
8月度以降は前年以上の業績を確保

売上高及び営業利益率



決算期	第1四半期	第2四半期				第2四半期(累計)				前年同期	前年同期比
		実績	計画	実績	差異	達成率	計画	実績	差異		
売上高	2,009	2,745	2,399	▲ 346	87.4%	4,445	4,407	▲ 38	99.1%	4,321	+2.0%
(構成比)	37.6%	45.4%	42.4%	▲3.0%	-	38.7%	40.0%	1.4%	-	48.1%	-
営業利益	205	359	259	▲ 100	72.1%	454	464	10	102.2%	428	+8.4%
(営業利益率)	10.2%	13.1%	10.8%	▲2.3%	-	10.2%	10.5%	0.3%	-	9.9%	-
現場社員数(人)	2,457	2,500	2,666	166	106.6%	2,500	2,666	166	106.6%	2,531	+5.3%

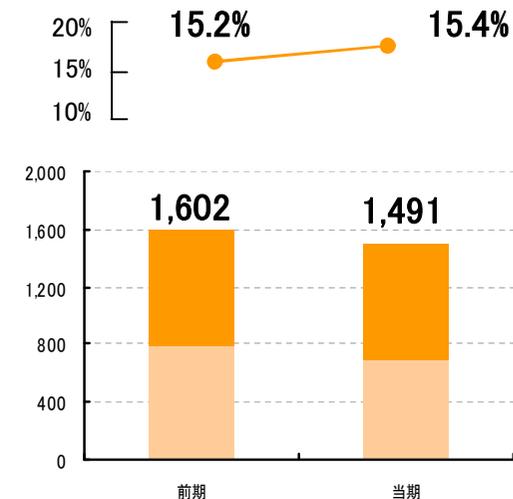
平成24年3月期 第2四半期 事業別業績ハイライト

MS事業 マニュファクチャリングソリューション事業

**売上高、現場社員数はわずかながら
計画未達成も営業利益においては大幅計画達成**

積極的に新規事業分野の開拓活動を進め、既存修理事業以外のフィールドサービス事業分野で更なる修理対象品目のラインアップを増やすとともに引き続き事業拡充を図る

売上高及び営業利益率



決算期	第1四半期	第2四半期				第2四半期(累計)				前年同期	前年同期比
		計画	実績	差異	達成率	計画	実績	差異	達成率		
売上高	686	797	806	9	101.1%	1,497	1,491	▲ 6	99.6%	1,602	▲ 6.9%
(構成比)	12.8%	13.2%	14.2%	1.1%	-	13.0%	13.5%	0.5%	-	17.8%	-
営業利益	80	148	150	2	101.4%	208	230	22	110.6%	244	▲ 5.7%
(営業利益率)	11.7%	18.6%	18.6%	-	-	13.9%	15.4%	1.5%	-	15.2%	-
現場社員数(人)	726	800	756	▲ 44	94.5%	800	756	▲ 44	94.5%	775	▲ 2.5%

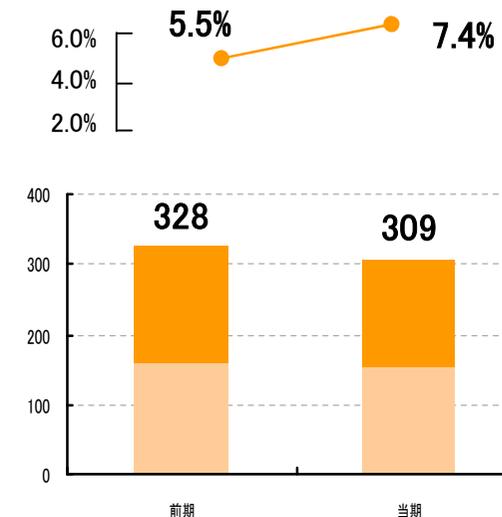
平成24年3月期 第2四半期 事業別業績ハイライト

GE事業 (GS事業+ES事業)

売上高、現場社員数においては計画未達成も
営業利益においては大幅計画達成

日本人技術者派遣のほか、中国法人と連携して中国人技術者の日本メーカーへ派遣する当社グループ特有のビジネスモデルを再度ブラッシュアップし、顧客のニーズに応える

売上高及び営業利益率



決算期 項目	第1四半期		第2四半期				第2四半期(累計)				前年同期	前年同期比
	実績	計画	実績	差異	達成率	計画	実績	差異	達成率			
売上高	155	176	153	▲ 23	86.9%	326	309	▲ 17	94.8%	328	▲5.8%	
(構成比)	2.9%	2.9%	2.7%	▲0.2%	-	2.8%	2.8%	-	-	3.7%	-	
営業利益	16	12	7	▲ 5	58.3%	17	23	6	135.3%	18	+27.8%	
(営業利益率)	10.3%	6.8%	4.6%	▲2.2%	-	5.2%	7.4%	2.2%	-	5.5%	-	
現場社員数(人)	111	115	112	▲ 3	97.4%	115	112	▲ 3	97.4%	119	▲5.9%	

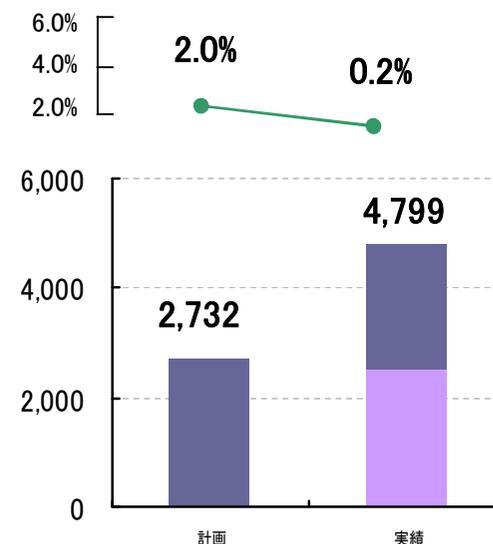
平成24年3月期 第2四半期 事業別業績ハイライト

EMS事業 エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業

売上高、営業利益の 主要項目において計画未達成

大震災に伴う世界的な部材調達の影響を直接受け、コストミニマムオペレーションにて業績悪化を最小限に食い止めるもともに、当該事業の当社グループ内での事業シナジーを一層発揮すべく営業面、技術面での見直しを精力的に進める

売上高及び営業利益率



決算期	第1四半期	第2四半期				第2四半期(累計)				前年同期	前年同期比
		項目	実績	計画	実績	差異	達成率	計画	実績		
売上高	2,497	2,332	2,302	▲ 30	98.7%	5,232	4,799	▲ 433	91.7%	2,732	+75.7%
(構成比)	46.7%	38.5%	40.7%	2.1%	-	45.5%	43.6%	▲1.9%	-	30.4%	-
営業利益	12	▲ 8	▲ 4	4	50.0%	22	8	▲ 14	36.4%	56	▲85.7%
(営業利益率)	0.5%	▲0.3%	▲0.2%	0.2%	-	0.4%	0.2%	▲0.3%	-	2.0%	-

平成24年3月期 第2四半期 業績ハイライト(B/S)

前期末比 総資産+13,181百万円、純資産+3,684百万円

項目/決算別 (単位:百万円)	平成23年3月期	平成24年3月期 第2四半期		
	(11/3末)	(11/9末)	増減	前期末比
資産合計	7,362	20,543	13,181	279.0%
流動資産	6,508	14,404	7,896	221.3%
固定資産	854	6,139	5,285	718.9%
負債	5,193	14,690	9,497	282.9%
流動負債	4,233	11,598	7,365	274.0%
固定負債	960	3,092	2,132	322.1%
純資産	2,169	5,853	3,684	269.8%
資本金	501	501	0	100.0%
資本剰余金	216	219	3	101.4%
利益剰余金	1,512	2,745	1,233	181.5%
その他	▲ 59	2,388	2,447	—
負債・純資産合計	7,362	20,543	13,181	279.0%

流動資産 前期末比+7,896百万円

現金及び預金+2,977百万円
受取手形及び売掛金+3,312百万円
製品、仕掛品+654百万円
原材料及び貯蔵品+594百万円

固定資産 前期末比5,285百万円

有形固定資産+4,126百万円

流動負債 前期末比+7,365百万円

短期借入金+4,313百万円
支払手形及び買掛金+2,234百万円
賞与引当金+206百万円
未払金 +113百万円

資本金 前期末比±0百万円

変動なし

資本剰余金 前期末比+3百万円

利益剰余金 前期末比+1,233百万円

その他 前期末比+2,447百万円

少数株主持分+2,529百万円
為替換算調整勘定△61百万円

平成24年3月期 第2四半期 業績ハイライト(C/F)

TKRとの経営統合により1株あたり純資産・純利益ともに大幅増加

<C/F>

(単位：百万円)

項目/決算期	平成23年3月期 第2四半期累計期間 (前期)	平成24年3月期 第2四半期累計期間 (当期)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	377	▲295	▲672
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲420	463	883
財務活動によるキャッシュ・フロー	920	2,229	1,309
現金及び現金同等物の増減額	871	2,383	1,512
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,773	4,095	2,322

<主な経営指標>

項目/決算期	平成23年3月期 第2四半期累計期間 (前期)	平成24年3月期 第2四半期累計期間 (当期)	増減
1株あたり純資産(円)	20,171.16	32,952.37	12,781.21
自己資本比率(%)	25.8	16.1	▲9.7
1株あたり純利益(円)	7,685.85	12,796.05	5,110.20

* 平成23年4月1日を効力日として株式分割(1株→5株)を実施したため、平成23年3月期第2四半期累計期間の1株あたり純資産(円)と1株あたり純利益(円)は分割後換算で表示



平成24年3月期 通期業績予想



平成24年3月期 通期業績予想（連結）

売上高:前期比+69.3%、利益:営業利益で前期比+24.4%

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				平成24年3月期(通期)累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	8,983	11,007	2,024	+22.5%	11,692	23,993	12,301	+105.2%	20,675	35,000	14,325	+69.3%
売上総利益	1,278	1,315	37	+2.9%	1,455	2,735	1,280	+88.0%	2,733	4,050	1,317	+48.2%
(売上総利益率)	14.2%	11.9%	▲2.3%	-	12.4%	11.4%	▲1.0%	-	13.2%	11.6%	▲1.6%	-
販売管理費	1,002	1,165	163	+16.3%	1,128	2,135	1,007	+89.3%	2,130	3,300	1,170	+54.9%
(販売管理费率)	11.2%	10.6%	▲0.6%	-	9.6%	8.9%	▲0.7%	-	10.3%	9.4%	▲0.9%	-
営業利益	276	150	▲126	▲45.7%	327	600	273	+83.5%	603	750	147	+24.4%
(営業利益率)	3.1%	1.4%	▲1.7%	-	2.8%	2.5%	▲0.3%	-	2.9%	2.1%	▲0.8%	-
経常利益	265	85	▲180	▲67.9%	318	645	327	+102.8%	583	730	147	+25.2%
(経常利益率)	3.0%	0.8%	▲2.2%	-	2.7%	2.7%	▲0.0%	-	2.8%	2.1%	▲0.7%	-
当期純利益	765	1,274	509	+66.5%	144	▲224	▲368	-	909	1,050	141	+15.5%
(当期純利益率)	8.5%	11.6%	3.1%	-	1.2%	▲0.9%	▲2.2%	-	4.4%	3.0%	▲1.4%	-
現場社員数	3,425	3,534	109	+3.2%	3,312	3,980	668	+20.2%	3,312	3,980	668	+20.2%

平成24年3月期 通期業績予想概要（連結）

売上高 35,000百万円（前年同期比 69.3%増↑）
⇒前年同期に比して売上高は14,325百万円の大増収

●IS事業 9,400百万円（前年同期比 10.4%増↑）

●MS事業 3,000百万円（前年同期比 5.5%減↓）

●GE事業 600百万円（前年同期比 12.9%減↓）

●EMS事業 22,000百万円（前年同期比 165.2%増↑）

売上総利益 4,050百万円（前年同期比 48.2%増↑）
⇒前年同期に比して売上総利益は1,317百万円の増益

販管費 3,300百万円（前年同期比 54.9%増↑）

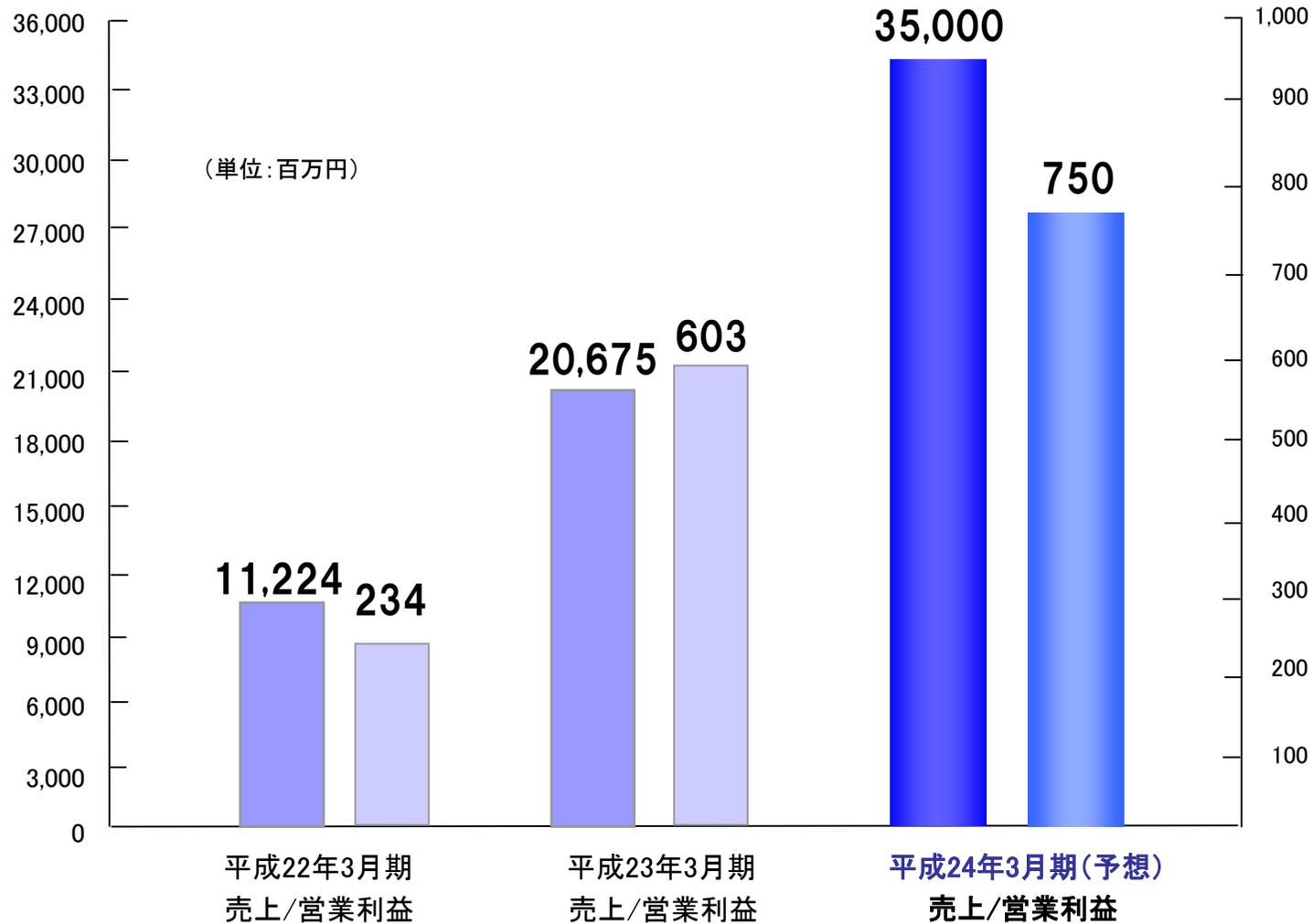
営業利益 750百万円（前年同期比 24.4%増↑）

経常利益 730百万円（前年同期比 25.2%増↑）

当期純利益 1,050百万円（前年同期比 15.5%増↑）

平成24年3月期 通期業績予想概要（連結）

売上高:前期比+69.3% 営業利益+24.4%



平成24年3月期 事業別業績見通し

IS事業 インラインソリューション事業

売上高10.4%増 営業利益18.7%増

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	4,321	4,407	86	+2.0%	4,195	4,993	798	+19.0%	8,516	9,400	884	+10.4%
(構成比)	48.1%	40.0%	▲8.1%	-	35.9%	20.8%	▲15.1%	-	41.2%	26.9%	▲14.3%	-
営業利益	428	464	36	+8.4%	474	607	133	+28.1%	902	1,071	169	+18.7%
(営業利益率)	9.9%	10.5%	0.6%	-	11.3%	12.2%	0.9%	-	10.6%	11.4%	0.8%	-
現場社員数(人)	2,531	2,666	135	+5.3%	2,405	3,000	595	+24.7%	2,405	3,000	595	+24.7%

MS事業 マニュファクチャリングソリューション事業

売上高5.5%減 営業利益15.6%増

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	1,602	1,491	▲111	▲6.9%	1,571	1,509	▲62	▲3.9%	3,173	3,000	▲173	▲5.5%
(構成比)	17.8%	13.5%	▲4.3%	-	13.4%	6.3%	▲7.1%	-	15.3%	8.6%	▲6.8%	-
営業利益	244	230	▲14	▲5.7%	255	347	92	+36.1%	499	577	78	+15.6%
(営業利益率)	15.2%	15.4%	0.2%	-	16.2%	23.0%	6.8%	-	15.7%	19.2%	3.5%	-
現場社員数(人)	775	756	▲19	▲2.5%	778	850	72	+9.3%	778	850	72	+9.3%

平成24年3月期 事業別業績見通し

GE事業

グローバルエンジニアリング事業
(GS事業+ES事業)

売上高12.9%減 営業利益14.8%減

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	328	309	▲19	▲5.8%	361	291	▲70	▲19.4%	689	600	▲89	▲12.9%
(構成比)	3.7%	2.8%	▲0.9%	-	3.1%	1.2%	▲1.9%	-	3.3%	1.7%	▲1.6%	-
営業利益	18	23	5	+27.8%	36	23	▲13	▲36.1%	54	46	▲8	▲14.8%
(営業利益率)	5.5%	7.4%	2.0%	-	10.0%	7.9%	▲2.1%	-	7.8%	7.7%	▲0.2%	-
現場社員数(人)	119	112	▲7	▲5.9%	129	130	1	+0.8%	129	130	1	+0.8%

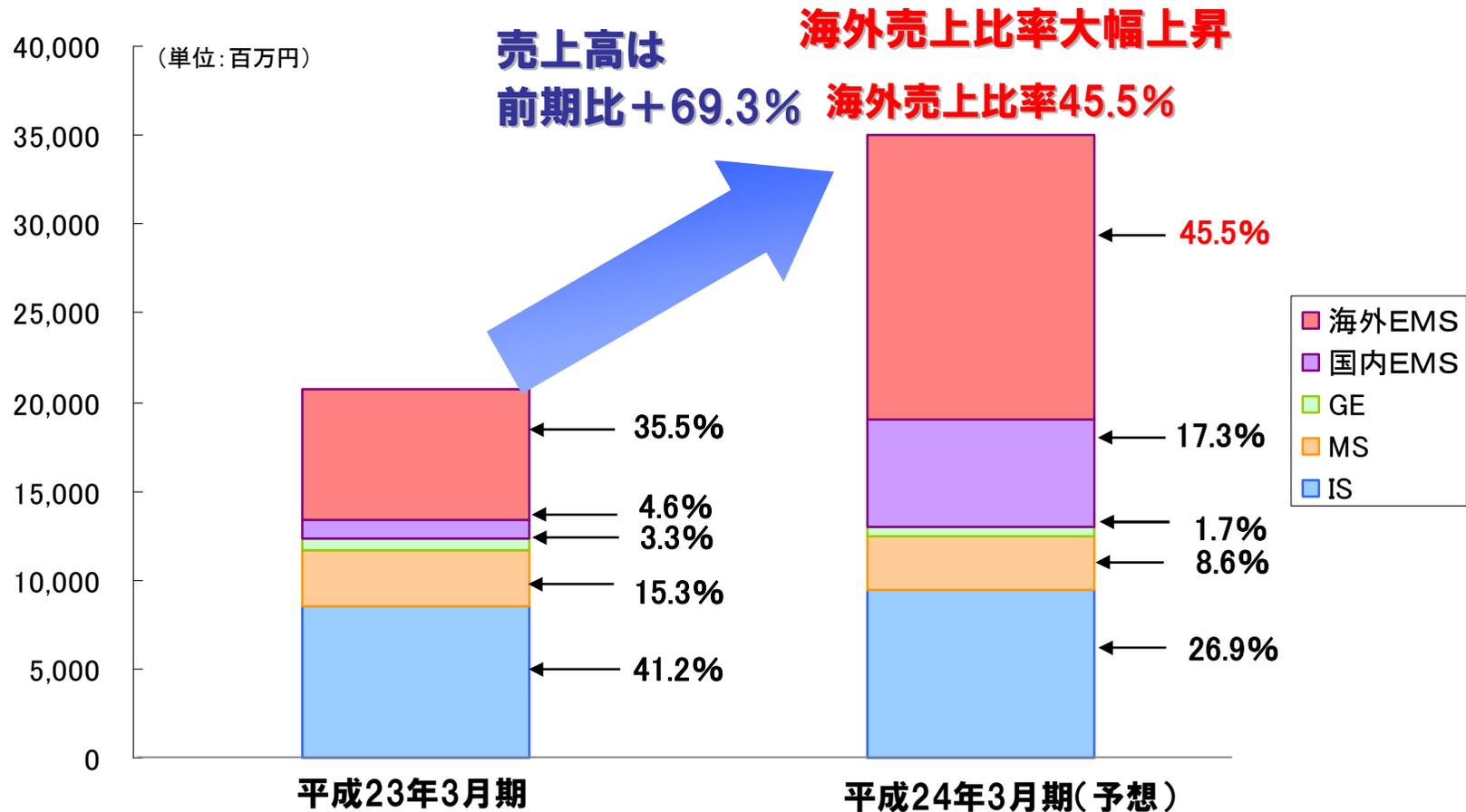
EMS事業

エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業

売上高165.2%増 営業利益121.2%増

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	2,732	4,799	2,067	+75.7%	5,565	17,201	11,636	+209.1%	8,297	22,000	13,703	+165.2%
(構成比)	30.4%	43.6%	13.2%	-	47.6%	71.7%	24.1%	-	40.1%	62.9%	22.7%	-
営業利益	56	8	▲48	▲85.7%	57	242	185	+324.6%	113	250	137	+121.2%
(営業利益率)	2.0%	0.2%	▲1.9%	-	1.0%	1.4%	0.4%	-	1.4%	1.1%	▲0.2%	-

事業別売上構成



* 志摩電子日本、香港分は9ヶ月分
マレーシア(12月決算)は6ヶ月分のみ計上

*TKRグループは12月決算のため、6ヶ月分のみ計上

株主還元

**総還元性向（配当＋自己株式取得）20％を中長期的目標
配当性向10％を目標**

単位：円/(%)	平成22年3月期	平成23年3月期		平成24年3月期 (予想)
配当金(1株)	普通配当	普通配当	普通配当＋特別配当 ＋記念配当の場合	普通配当
	100円	200円	400円	300円
配当性向(連結) (単体ベース)	-	2.2%	4.4%	8.1%
	4.3%	10.0%	20.0%	-
総還元性向(連結) (単体ベース)	-	2.2%	4.4%	8.1%
	10.0%	10.0%	20.0%	-

* 平成23年4月1日を効力日として株式分割(1株→5株)を実施したため、上記は分割後換算で表示

* 2011年3月期第2四半期より連結決算をおこなっているため、参考として単体ベースも記載

* 2010年3月期は、自己株式取得(取得金額13,024,540円)を実施

第2四半期 トピックス

- TKRとの経営統合
- 中基衆合 無錫分公司の設立
- フィールドサービスの開始
- ネットレコーダー・ソリューションズ(株)との資本・業務提携



TKRとの経営統合



中期戦略（グループ戦略）

海外潜在市場の開拓

グローバルな請負体制を拡充し、
The UKEO(グローバルフィールドでの請負)を加速

国内市場のシェア拡大

請負化提案を強化
国内存続事業の拡大



これまでにない「新しいモノづくりソリューション会社」として
新・事業戦略コンセプト neo EMS(進化型のEMS)
をグローバルに展開し、企業価値を増大

新・事業戦略コンセプト

これまでにない「新しいモノづくりソリューション会社」 neo EMS(進化型のEMS) をグローバルに展開

neo EMS

人材ビジネスの持つ機動性を有するモノづくり

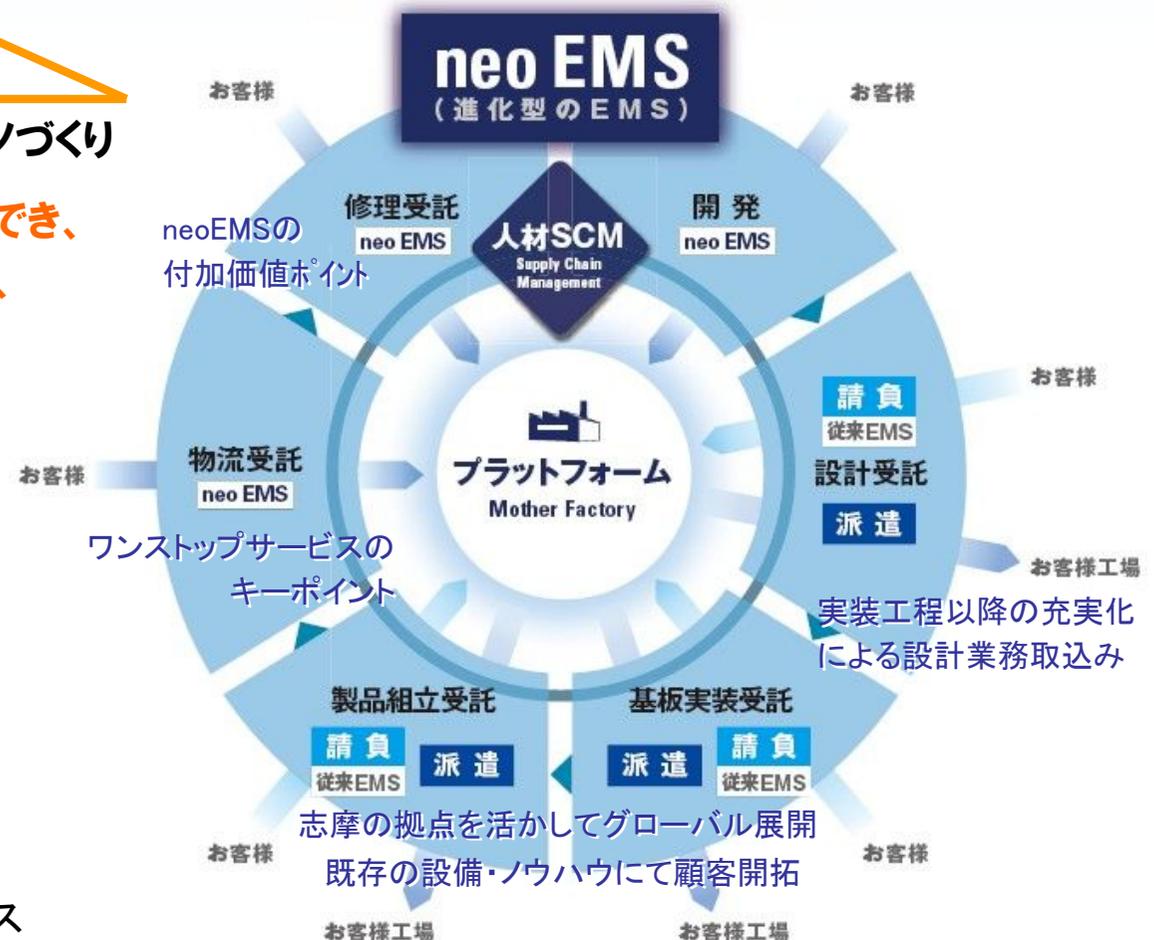
日本のメーカーが求める「モノづくり」ができ、
設計、開発、実装、製造、修理、CS等、
ワンストップサービスを提供

人材ビジネスの持つ
「人材提供の機動性」



EMSの持つ設計から製品組立に至る
「モノづくり」

* 従来のEMS
: 設備投資型、大量生産型向けのビジネス



製造アウトソーシング業界において

リーディングカンパニーとなる事業規模の達成

他社より大きく先行する

海外売上比率45.5%の達成予想(平成24年3月期)

他社より大きく先行する

**事業戦略コンセプト「neoEMS」を加速させる
多くの戦略上のメリットを獲得**

製造アウトソーシング業界において リーディングカンパニーとなる事業規模の達成

nms

グループ

「neo EMS」の事業戦略コンセプトのもと国内外に事業を展開し、他の製造アウトソーシング企業とは一線を画す「モノづくり」カンパニー

売上高: 206億円

純資産: 21億円

(2011年3月期連結ベース)

TKR

グループ

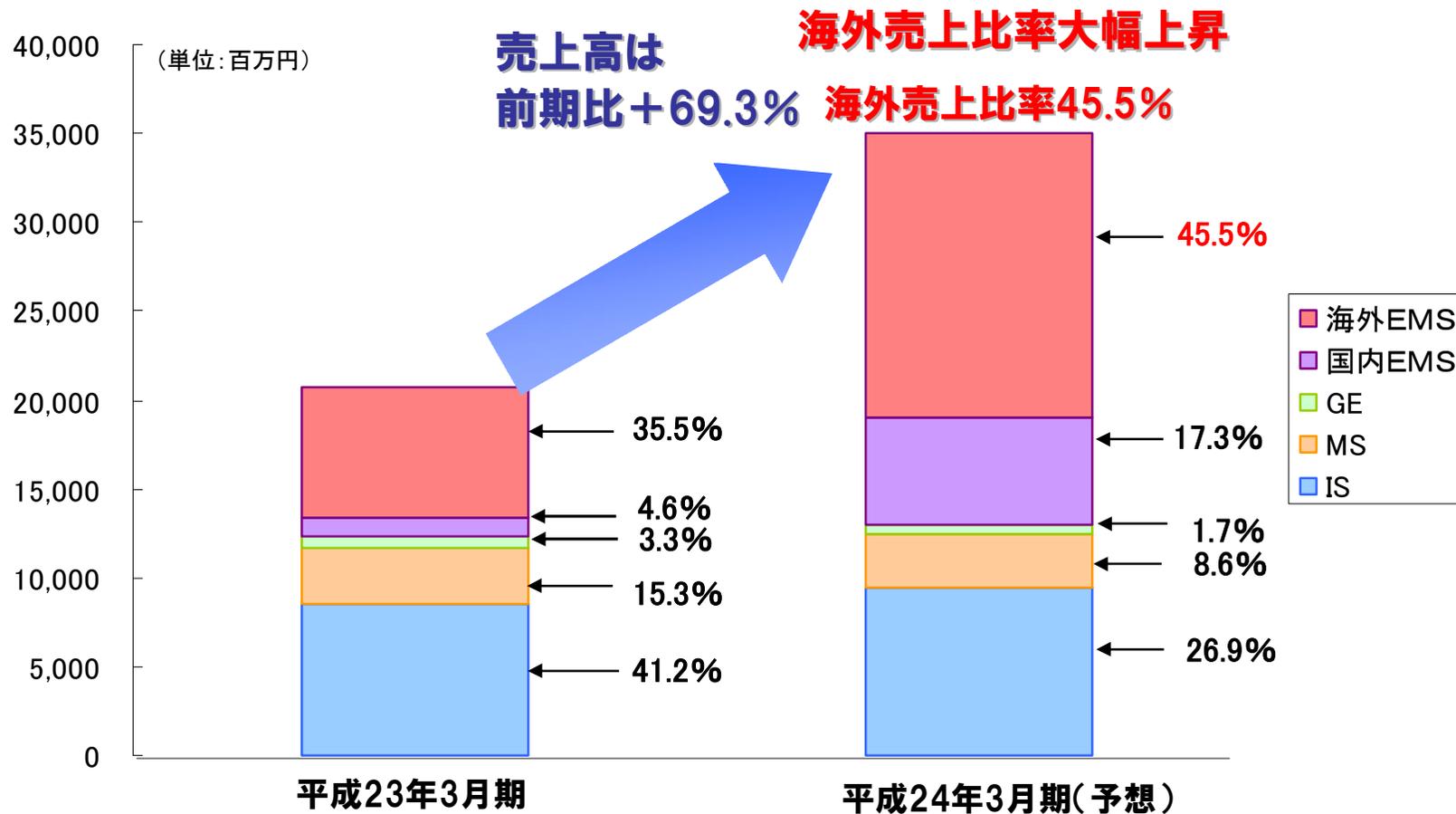
高度な開発設計技術力、製造能力を有し、グローバルに事業展開をしているEMS企業

売上高: 298億円

純資産: 53億円

(2011年3月期連結ベース)

本経営統合により、 当社の海外売上比率は45.5%に上昇



* 志摩電子日本、香港分は9ヶ月分
マレーシア(12月決算)は6ヶ月分のみ計上

* TKRグループは12月決算のため、6ヶ月分のみ計上

事業戦略コンセプト 「neo EMS」の強化

設計開発技術力、調達、部品製造・加工等メーカーと同等の製造能力を保有
「neo EMS」のサービスラインナップを強化

2010年7月子会社化



株式会社志摩電子工業

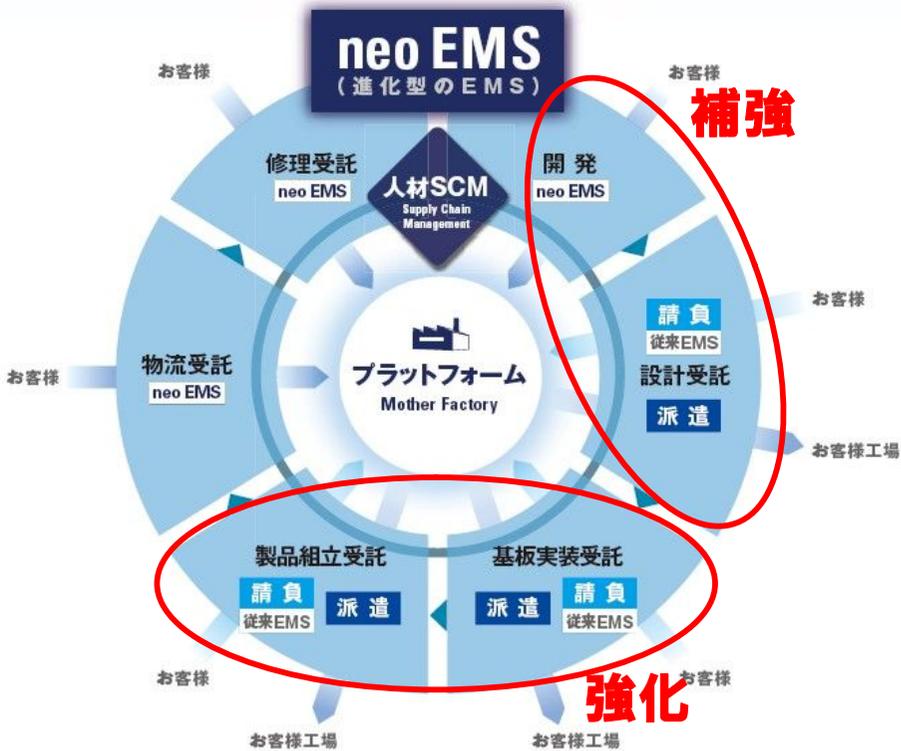
- 基板実装業務を強化
- 海外拠点の獲得(中国・マレーシア)

+



基板実装以外にも

- ・ 高度な開発設計技術力
- ・ 金型設計／製作
- ・ プレス加工
- ・ モールド成形加工
- ・ ODM/OEM 等
- 資材調達能力
- 海外人材教育システム
- 海外拠点(中国・マレーシア)



株式会社TKRとの経営統合による戦略的メリット

当社成長戦略上のメリット

Merit 1

「neo EMS」機能および国内・海外の事業基盤の強化

neo EMS機能を強化し、メーカーと同等の製造能力でサービス内容の充実を図る

Merit 2

顧客層、製品・サービス領域の拡大による事業機会の飛躍的拡大

国内のみならず海外拠点（中国、マレーシア）の規模と質的な拡充ができ、国内外においてneoEMSの機能強化とサービス領域の拡大による新規顧客領域の開拓

Merit 3

TKRが保有する生産管理システム等インフラ活用による事業効率の向上

グループ共同営業・受注体制の構築、部品調達、生産管理システムの共通化による在庫管理・購買業務の効率化等トータルコスト低減による利益率の改善

Merit 4

人材教育システムの活用により中国労務派遣事業の差別化を図る

北京中基衆合国際技術服务有限公司（中基衆合）でTheUKEOIに向け労務派遣スタッフを多能工化することで差別化を図る

neo EMS（進化型のEMS）の展開

TKRの子会社化により、neo EMSのグローバル展開を加速

メーカーと同等の製造能力にて、ODM/OEM、リペアサービスにいたるまで

neo EMSの機能強化を実現、トータルサービスを充実

開発・設計から製造にいたるすべてのモノづくりプロセスが補強・強化され、新たに追加される機能により一貫生産体制を実現

新規追加分野	開発・設計	開発・設計			資材調達		製造				物流	リペアサービス
		開発・設計	試作・評価	購買管理	金型製作・保守	部品製造・部品加工 (板金プレス、 モールド成形)	基板実装	デバイス・モジュール組立	完成品組立	検査		
国内	nms+志摩	○	○	○	×	×	○	○	○	○		○
	nms+志摩+TKR	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎
海外	nms+志摩	×	○	○	×	×	○	×	○	○		○
	nms+志摩+TKR	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎

サービスの高度化と充実化で新規顧客を獲得

国内外においてneo EMSの機能強化を実現し、設計開発、製造、修理に至るまで人材ビジネスの機動性を兼ね備えたワンストップサービスを提供

人材ビジネスの機動性

モノづくり力

メーカーに匹敵するモノづくり力

高度な開発設計技術力、
基板実装を含めたモジュール組立、
ODM/OEM等幅広いモノづくりサービス領域



基盤実装ラインの増加

国内外SMTライン数
nms・志摩
40ライン



国内外SMTライン数
nms・志摩・TKR
66ライン

顧客層、製品・サービス領域の拡大による事業機会の飛躍的拡大

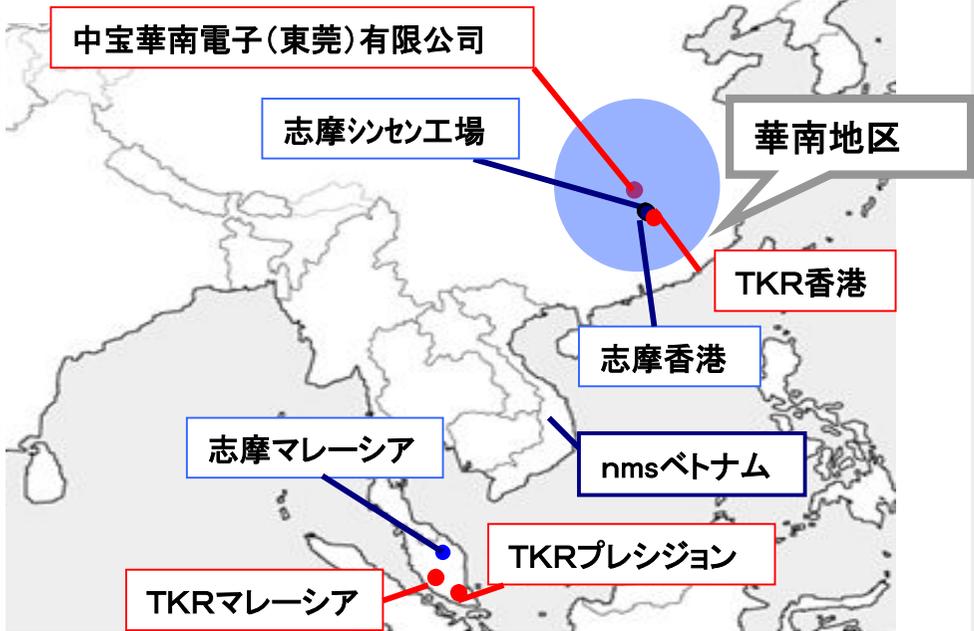
サービス領域の拡大による事業機会の拡大

国内拠点、海外拠点(中国、マレーシア)の規模と質的な拡充

海外 (10拠点)

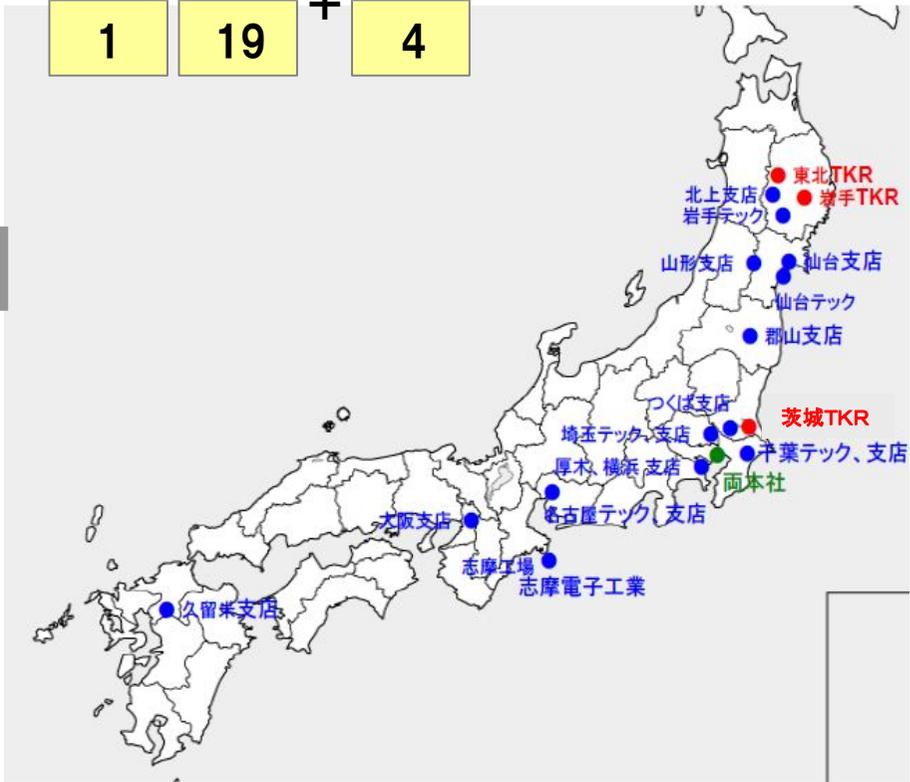
志摩	nms	+	TKR	
3	3		4	

日華材創国際技術服务有限公司
北京中基衆合国際技術服务有限公司



国内 (24拠点)

志摩	nms	+	TKR	
1	19		4	



(株)TKRが保有する生産管理システム等インフラ活用による事業効率の向上



**開発・設計業務から、部品製造・加工やモジュール組立を含めた
メーカーと同等の製造力でサービス内容を充実し、
グループ共同営業体制を強化拡充**

**TKRが独自開発したMRPを含むグローバルな調達システム、
生産管理システムを共有化することによる在庫管理・購買業務の
効率化等でトータルコストの低減、利益率の向上**

MRP: material requirement planning

Merit4: 人材教育システムの活用により中国労務派遣事業の差別化を図る

中国における日系メーカーからの受注に繋げる 中国現地労務派遣企業との差別化を図る



モノづくり現場で培ったノウハウを
基に人材教育システムを構築



北京中基衆合国際技術服務有限公司(中基衆合)

労務派遣スタッフ人材の教育に活用、
多能工化し、付加価値の高い人材を育成

 北京中基衆合国際技術服務
有限公司(中基衆合)
労務派遣(製造派遣等)事業

華東地区
(無錫分公司)

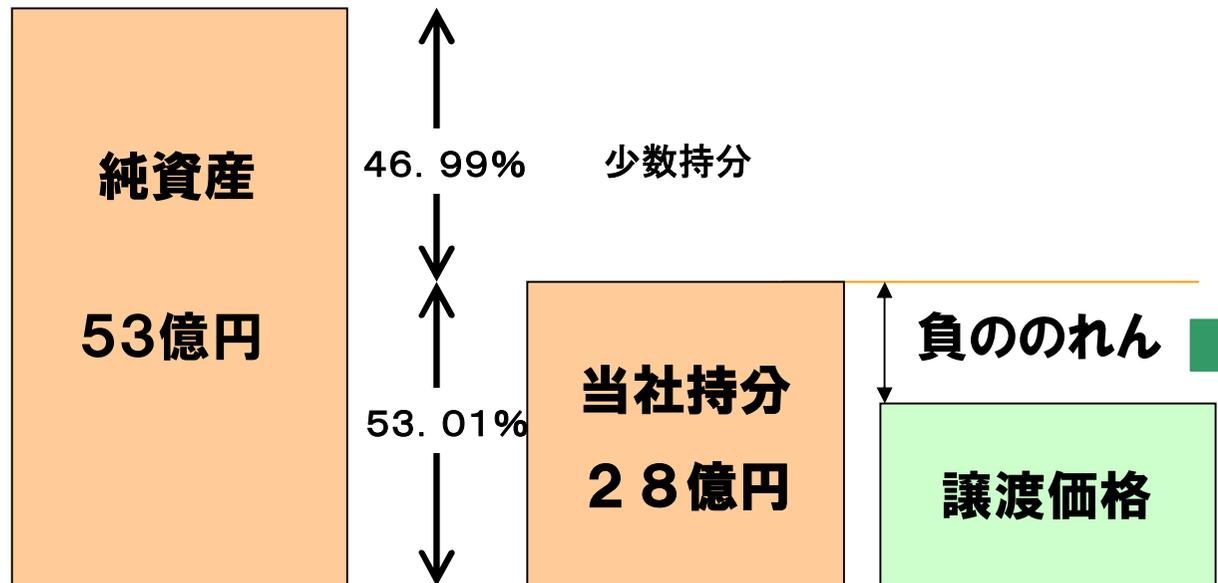
中宝華南電子(東莞)
有限公司

志摩シセン工場

華南地区

経済的メリット

本経営統合により、約12億円の「負ののれん」(特別利益)が発生



株式会社テーケイアールの純資産を下回る譲渡価格のために、2012年3月期において特別利益が発生する見込み



中基衆合國際技術服務有限公司 無錫分公司設立



中国 中基衆合国際技術服务有限公司 無錫分公司 設立

日系企業 約800社 が進出している無錫で

中基衆合の分公司を設立→製造派遣案件の獲得機会の増大

中基衆合国際技術服务有限公司 無錫分公司

北京日華材創国際技術服务有限公司

中国人材の独自の採用ルートにより高い技術力を持つ人材を確保しています。



北京中基衆合国際技術服务有限公司

(北京日華材創国際技術服务有限公司と中国政府系企業との合併会社)

労務派遣（製造派遣、技術者派遣等含む）に関する営業許可を取得し、製造派遣、技術者派遣事業を行っています。

NMS International Vietnam Company Limited

日系企業初となる“構内製造請負”事業ライセンスを取得し、現地法人を設立。構内製造請負業務および製造受託業務を行っています。

設立：平成23年9月5日

日系企業から当社の製造請負を見据えた製造派遣サービスに関する問い合わせおよび引き合いが10数社

<案件一部>

電子機器メーカー、車載用部品メーカー等各300名~のご依頼

2012年3月末時点 中基衆合派遣スタッフ在籍数
3,000名予定



フィールドサービスの開始



フィールドサービス

- 家電のフィールドサービス※の開始（エアコン）
- 中期経営計画である修理事業拡大のためグループで修理サービス体制の整備を開始

家電のフィールドサービス開始

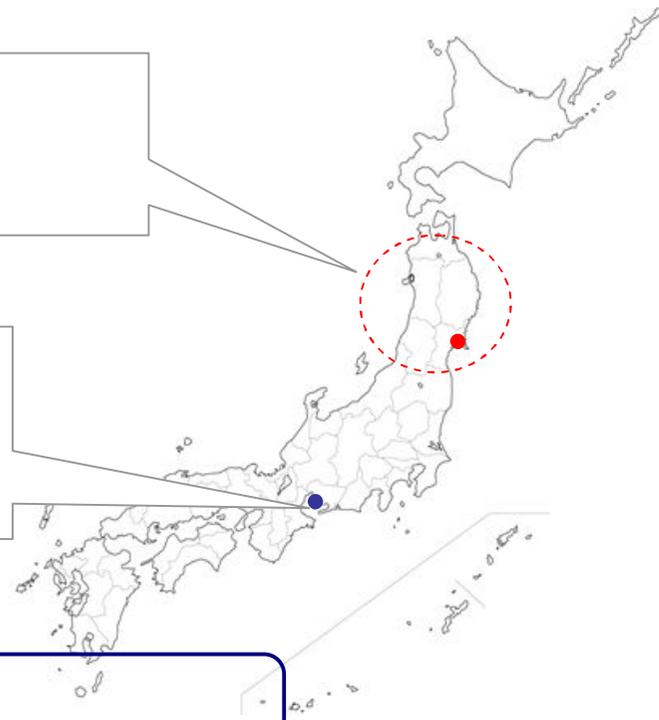
→宮城エリアから東北エリアにエリアを拡大

西日本エリアの修理サービス体制の整備

志摩電子工業で修理組織立ち上げ
→西日本エリアでの修理サービス開始を狙う

※フィールドサービス

出張修理だけでなく、保守・点検、設置・設定(PC等)、などを含めたサービス





ネットレコーダー・ソリューションズ(株) との資本・業務提携



ネットレコーダー・ソリューションズ(株)との資本・業務提携

メーカー各社の製造現場の作業等を電子マニュアル化、多言語化、研修等のナレッジツールを提供することで

- 国内製造派遣、請負市場シェアの拡大を図る
- 海外生産移管の支援サービスとして提供することで海外での製造派遣、請負案件を獲得

■ネットレコーダー・ソリューションズ(株)の製品「NetRecorder」

企業内のマニュアル等を電子マニュアル(電子書籍)化、多言語対応して配信し、i-Pad2 と Androidといったモバイル環境にも対応



メーカーと製造現場のナレッジを共有

各メーカー
顧客ニーズ 

新製品のベンダー向け
説明資料を簡単に作成したい

海外向け作業手順を動画化したい
(ドキュメント化が難しい部分など)

海外含めた、研修の仕組みを
多言語で構築したい

nms

nmsがコンテンツ作成にも携わり
NetRecorderの製品を販売

顧客企業内研修
(CAD研修、作業研修など)

作業マニュアル/手順書
(国内向け、海外向け)

新製品使用マニュアル
(国内向け、海外向け)

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料の中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

日本マニュファクチャリングサービス株式会社
コーポレート本部 広報IRグループ
Tel:03-5333-1711
E-mail:nms-ir@n-ms.co.jp